和名	分類	特徴ほか	会える場所			
ツマキチョウ	シロチョウ科	羽先のワンポイント	ハイム	多摩川土手（中野島周辺）	生田緑地	その他
			○	◎	○	全国

成虫発生時期（月）												
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	

○ 食草　　食樹	発生回数/年	越冬形態
タネツケバナ、ショカッサイほか	1	蛹（さなぎ）

多摩川土手　♂　中野島　4月中旬　　アブラナで吸蜜

多摩川土手　♀　登戸　4月中旬　　ムラサキケマンで吸蜜

早春の蝶の一つで、モンシロチョウやモンキチョウに混じって出現し、飛び方がほかのシロチョウたちに比べると余り力強さはないので遠くからでもそれとわかります。

前羽の先にワンポイント、名前の由来である黄～橙色の紋がありますがこれはオスのみです。

これによく似た蝶に、クモマツマキチョウというのがいます。「クモマ」（雲間）は高山に生きる動植物につく接頭語で実際に、長野、新潟、富山の標高の高い地域（1000～2000m）でしか見られない珍しい蝶です。

ただヨーロッパではフランスやベルギーの平地で飛んでいました。緯度が高くなると蝶に限らず起る現象で、写真はフランスのロワール川の古城の周辺で撮ったものです。

東高根森林公園　♂♀　4月上旬（2023）

クモマツマキチョウ　フランス・アンボワーズ　5月中旬
参考：アンボワーズ⇒北緯47度（札幌⇒北緯43度）

多摩川土手　♂
中野島
3月24日（2021）
セリバヒエンソウに飛来

東高根森林公園　♀
4月5日（2023）

東高根森林公園　♂
4月10日（2023）

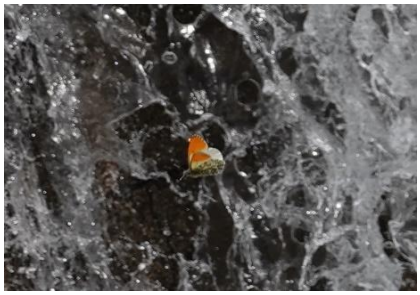
クモマツマキチョウ
長野県　♂
　6月5日（2021）
ミヤマハタザオに飛来

クモマツマキチョウ
長野県　♂
　6月5日（2021）
ミヤマハタザオに飛来

クモマツマキチョウ
長野県　♀
　6月6日（2021）
ミヤマハタザオに飛来

クモマツマキチョウ
長野県　♂
　5月18日（2022）
スミレに飛来

↓　クモマツマキチョウ　長野県　♂　5月19日（2022）　堰堤の滝を飛ぶ　　↑　交尾　5月18日（2022）



クモマツマキチョウ
長野県　♂
　5月11日（2023）
スミレに飛来

クモマツマキチョウ
長野県　♀
　5月11日（2023）
スミレに飛来

クモマツマキチョウ
長野県　♂
　5月11日（2023）
飛翔